

吸収性リコイルリングつきメッシュを用いた 腹腔鏡下腹壁ヘルニア修復術の治療成績の検証

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

腹壁ヘルニアの手術ではメッシュシートによってお腹の壁の補強を行うことが一般的で、とくに小さい傷で行う腹腔鏡手術においてはメッシュを使用することが前提となります。手術で使用されるメッシュにはいくつかの種類があり、当院ではメッシュの形を整えるためのリングが付いた製品をよく使用しています。このメッシュは丸める等の力を加えても平らな状態へと自然に戻る、つまり形態が安定しているという特徴があります。この特徴のおかげで狭いお腹の中でも扱いやすく、我々がより安全な手術を行うことに役立っていると考えています。このリングつきメッシュを腹腔鏡手術で使用した場合の効果や成績についてこれまで当院で行った手術の情報をもとに検証します。診療を通じて既に得られた情報を使用するため、この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2019年4月1日から2026年6月30日までの期間に、当院で吸収性リコイルリングつきメッシュを用いた腹腔鏡下腹壁ヘルニア手術を受けた方

使用する試料・情報

電子カルテに記録されている年齢、性別、ヘルニアの穴の大きさ、使用したメッシュの大きさ、手術時間、出血量、術後の痛みの程度、術後の入院期間、術後合併症の有無、再発の有無といったデータを使用します。

使用開始予定日：2026年7月24日

研究予定期間

2026年7月24日～2026年9月1日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。氏名や患者IDなどの個人を特定できる情報を削除し、研究用IDを付して管理します。患者IDと研究用IDの対応表は適切に管理し、外部に漏れないよう取り扱います。研究成果を学会等で発表する予定ですが、個人が特定されることはありません。

〔研究の情報管理責任者〕 外科 辛島龍一
〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止するとともに、収集した情報等も可能な限り削除します。既に研究成果の公表後などで削除が困難な場合は、その旨をご説明します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係がなく、ご協力いただけない場合も不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を

閲覧することが出来ます。

問い合わせ先	済生会熊本病院 外科 辛島 龍一 住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000（代表）
---------------	---